

全国の自治体初！ 生涯学習・社会教育行政における 学びの履歴のデジタル化！

～いつでも、どこでも、スマホで提示！
オープンバッジの可能性！～

広島県立生涯学習センター
社会教育主事
吉長 愛
株式会社ネットラーニング
教育事業部
村澤 孝経

自己紹介



広島県立生涯学習センター
社会教育主事
吉長 愛

NetLearning®

株式会社ネットラーニング
教育事業部 営業チーム
村澤 孝経

全国の自治体初！
生涯学習・社会教育行政における
学びの履歴のデジタル化！

～いつでも、どこでも、スマホで提示！
オープンバッジの可能性！～

オープンバッジとは

新しい資本主義のグランドデザイン及び 実行計画2023

(4) リ・スキリングによる能力向上支援

①個人への直接支援の拡充

業種・企業を問わず個人が習得したスキルの履歴の可視化を可能とする一助として、デジタル上での資格情報の認証・表示の仕組み（オープンバッジ）の活用の推奨を図る。

引用：

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_sihonsyugi/kaigi/dai19/shiryou1.pdf

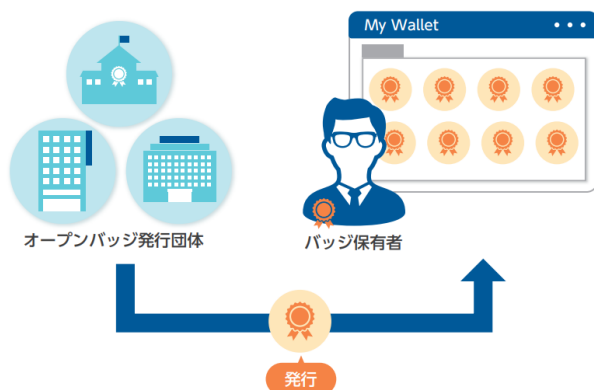
オープンバッジとは

世界で活用されているデジタル証明
学習者の学びの証明として発行

バッジを獲得！



第三者に共有できる！



オープンバッジ (Open Badge)

情報がバッジに
格納されている

バッジ名	説明
発行者	取得条件
作成日	知識・スキル
受領者	



共有・証明



検証

オープンバッジの導入事例



日本国内 バッジ種類 約1.4万個
発行数 約166万個



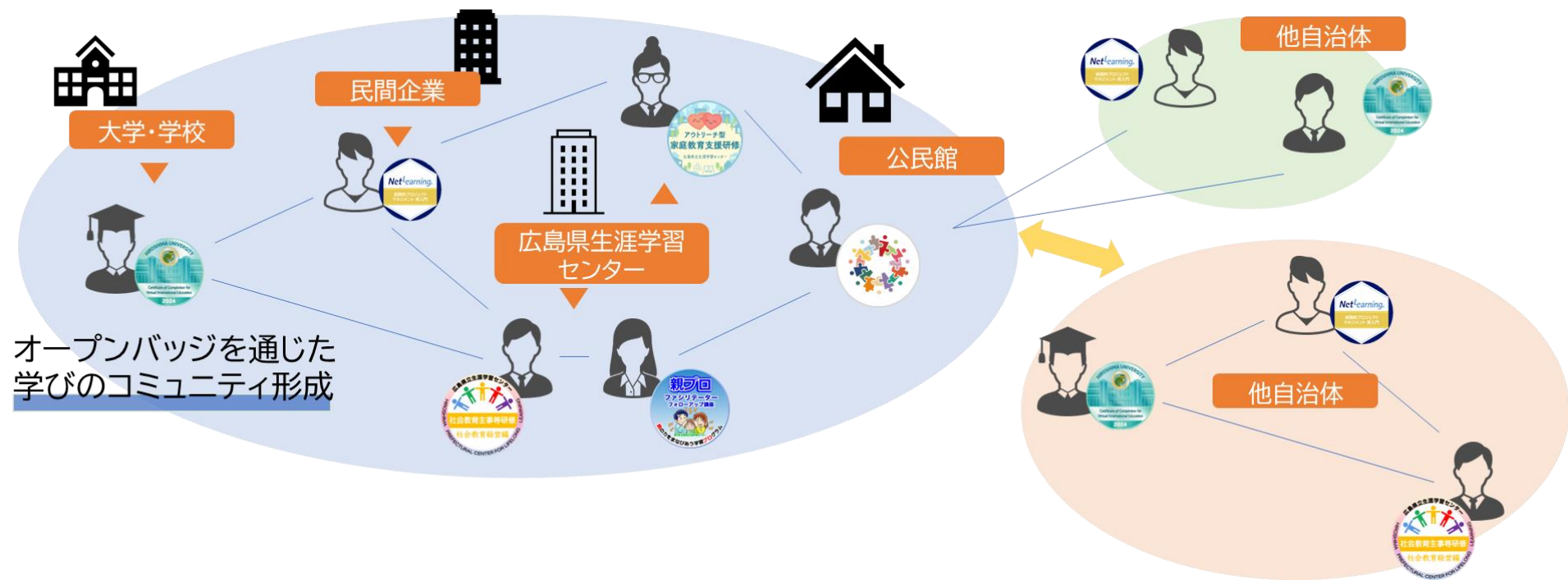
全世界 発行数 約1.5億個
※2025年4月現在

オープンバッジの 活用

社会教育・生涯学習での活用について



バッジ＝学びを通じたコミュニティ形成



受領者の声～オープンバッジの活用～

タイトル: ボランティア活動でアピール

高校時代に翻訳ボランティアに参加し、**複数のバッジを取得。**

大学受験時には総合型選抜・AO選抜の提出資料としてオープンバッジを利用し、英語力やボランティア活動への積極的な参加をアピールすることができた。

受領者の声～オープンバッジの活用～

タイトル: 文系からIT企業への内定決定
大学1年からデータサイエンス系の授業に参加し、バッジを取得。

就職活動にて、成績証明書とオープンバッジを見て、積極的にIT・データサイエンス系の授業を履修していることを高く評価いただいた。

受領者の声～オープンバッジの活用～

タイトル: SNSでオファー続出

スカウト型の転職サイトに登録しても、求人が少なく、落ち込んでいた。

しかし、**バッジをLinkedInで投稿**して、プロジェクトでのリーダー経験を投稿したら、**毎日最低5通ぐらい弊社の面接受けませんか？**というメッセージが届いた。

調査研究の概要

調査研究の概要

文部科学省委託事業概要

(1) 題目

「デジタル技術を活用した多様な生涯学習
の学習履歴の活用に関する調査研究」

(2) 業務期間

令和5年4月27日～令和7年3月24日

(3) 受託企業

株式会社ネットラーニング

調査研究の概要

オープンバッジを発行することを通じて
目指すもの

ア 県民のデジタルリテラシーの向上

イ 学びの可視化とモチベーションの向上

ウ 「学び」を通じたコミュニティの活性化

調査研究の概要

オープンバッジ発行対象研修及び講座 令和5年度



調査研究の概要



オープンバッジ発行対象研修及び講座 令和6年度



調査研究の概要

調査研究の仮説

オープンバッジの活用を通して、生涯学習における学習履歴の可視化・デジタル化を行えば、人々がデジタル技術に触れることができ、研修や講座に対する学習意欲が高まったり、学びを通じた人と人とのつながり等のコミュニティの形成を図ったりすることができるであろう。

調査研究の実際

調査研究の実際

令和5年度調査研究内容

- (1) **オープンバッジ発行**
五つの研修及び講座
- (2) **1回目アンケート**
オープンバッジ受領希望に関わらず研修及び講座
受講者全員
- (3) **受領者インタビュー**
最多受領者（半構造化インタビュー法）
- (4) **2回目アンケート**
令和5年10月までにオープンバッジを受領された方
を対象に、12月末に実施
- (5) **オープンバッジ受領者交流会**
オンライン（Zoom） 平日の18時から19時

調査研究の実際

令和6年度調査研究内容

(1) オープンバッジ発行

八つの研修及び講座及び二つの事業

(2) 1回目アンケート

オープンバッジ受領希望に関わらず研修及び講座
受講者全員

(3) 保有者アンケート

令和5年度にオープンバッジを受領された方を対象に
12月初旬に実施

(4) 2回目アンケート

令和6年5月から11月の間にオープンバッジを受領
された方を対象に、12月末に実施

(5) オープンバッジ受領者交流会

集合・対面及びオンライン（Zoom）
土曜日の14時10分から16時30分

分析と考察

分析と考察

- 1 県民のデジタルリテラシーの向上について成果があったか
- 2 学びの可視化とモチベーションの向上について成果があったか
- 3 「学び」を通じたコミュニティの活性化について成果があったか

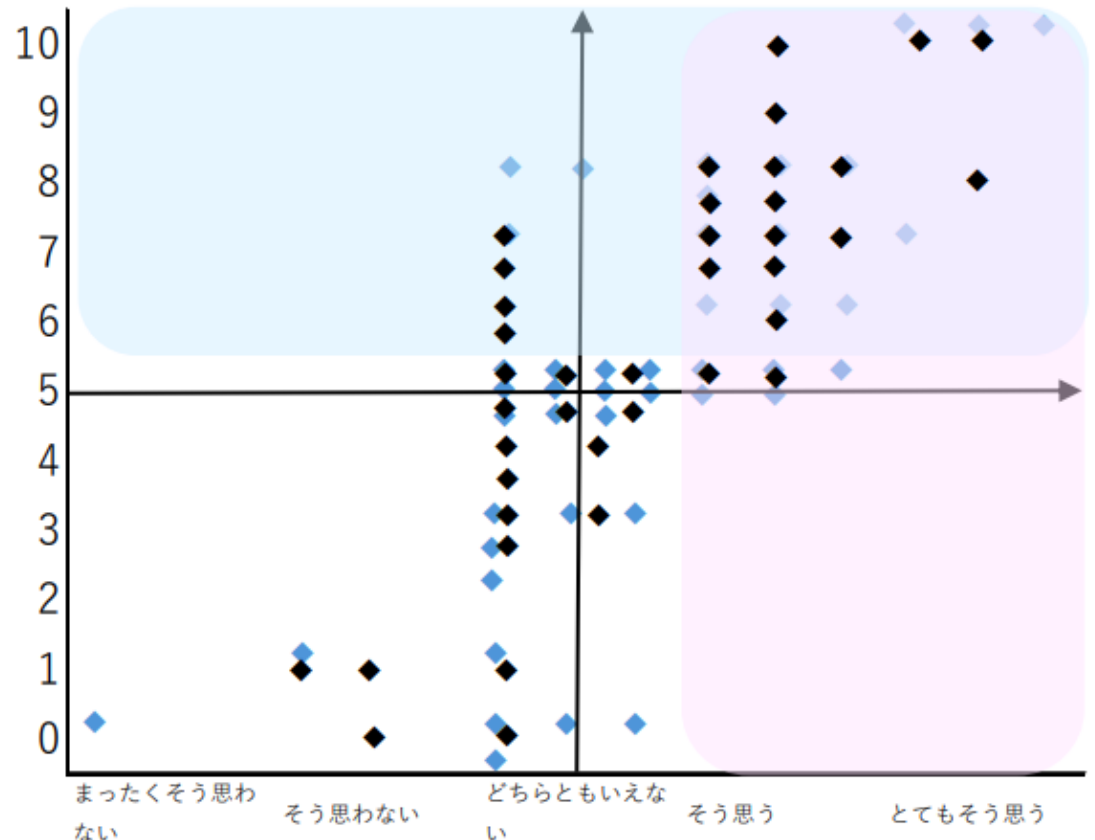
分析と考察

Ⅰ 国民のデジタルリテラシーの向上について成果があったか

オープンバッジが今後、
自身にとって役立つと
思うか

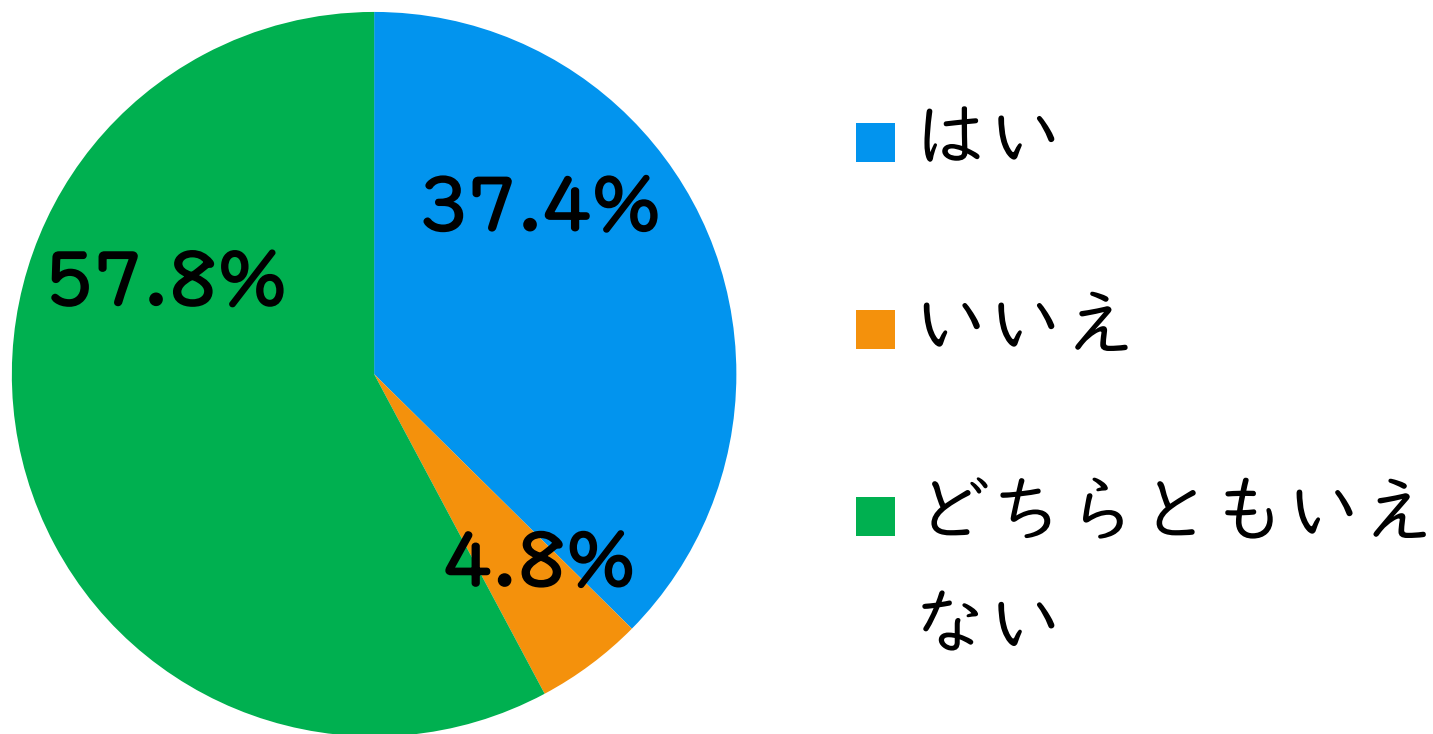
肯定的回答 43.4%

日頃から、
他者との繋がりや協働
を意識している方は、
オープンバッジが
自身にとって役立つと
考えている



調査研究について

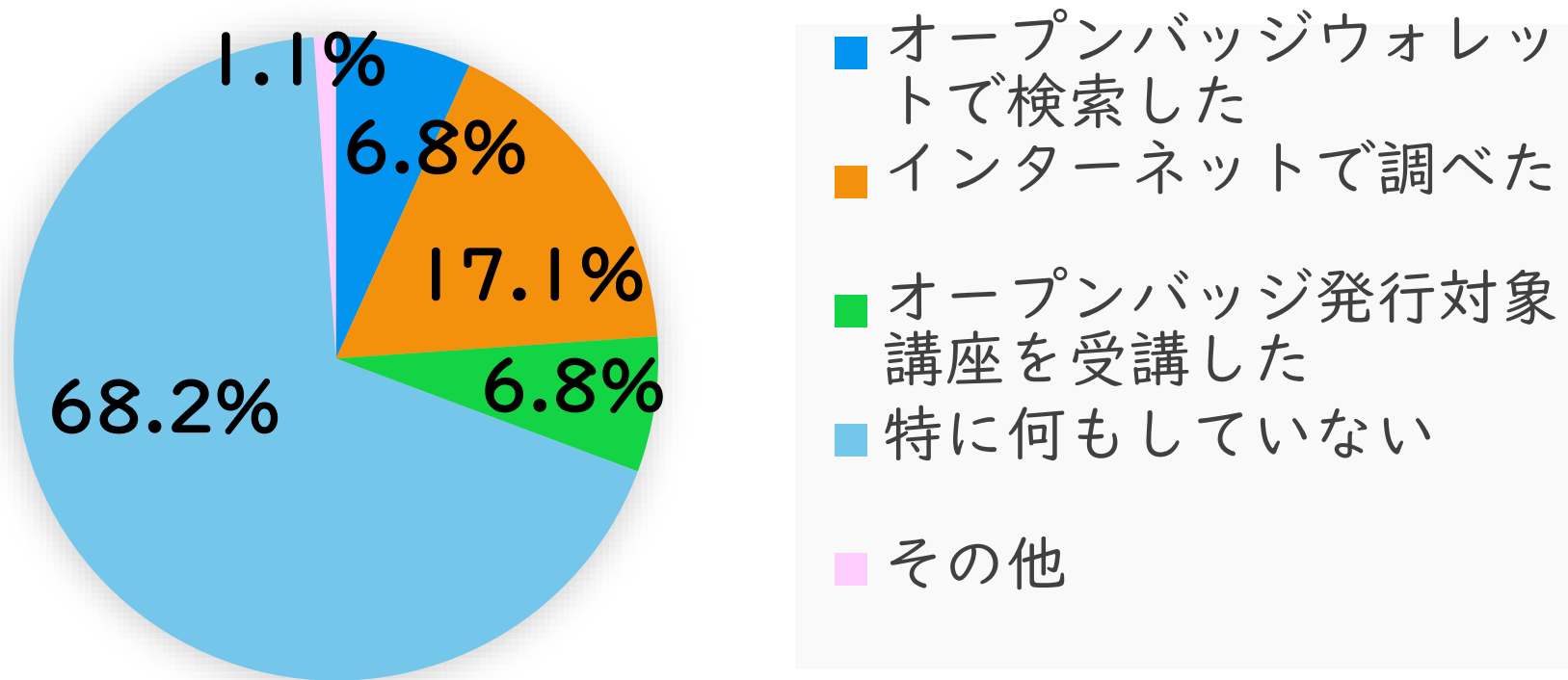
2 学びの可視化とモチベーションの向上について成果があったか



他のオープンバッジを取得してみたくなったか n = 83

調査研究について

2 学びの可視化とモチベーションの向上について成果があったか



オープンバッジが発行される講座について（複数回答可）

n = 83

調査研究について

2 学びの可視化とモチベーションの向上について成果があったか

受領者インタビューの意見

- ・二つ目、三つ目と増えるとウォレットを見て「あ、増えた増えた」と喜んだ。
- ・デジタルで一元化して管理することで、自分が「勉強をした」という励みになる。

オープンバッジ受領者交流会の意見

- ・デジタルの蓄積を評価してもらえたら嬉しい。
- ・コレクター魂に火をつける。

調査研究について

3 「学び」を通じたコミュニティの活性化について成果があったか

受領者インタビューの意見

どんどん違う方とお話するよい機会になって、お互いのスキルアップ・知識の向上にもつながっていくのがよい未来だ。

オープンバッジ受領者交流会の意見

オープンバッジを持っている人がいろんなところにいて、情報共有できたり、自分の企画のアドバイスをもらったり等ができればありがたい。

調査研究について

3 「学び」を通じたコミュニティの活性化について成果があったか

オープンバッジ受領者交流会振り返りアンケート

「1. 交流会に参加して」の結果

n = 20

1. 交流会に参加して	人	%
楽しかった	19	95.0
新しく知り合いになれた	6	30.0
新しい発見があった	9	45.0
新しくやってみたいことができた	3	15.0
仕事（活動）へのヒントが得られた	9	45.0
明日もがんばろうという気持ちになった	8	40.0
もっといろいろな人と交流してみたい	11	55.0
特に何もなかった	0	0

成果と課題

成果

「国民のデジタルリテラシーの向上」や
「学びの可視化とモチベーションの向上」
に有効。

課題

「「学び」を通じたコミュニティの活性化」
のための取組が必要。

[illegible]

「スコア順」及び
「出現頻度順」

ユーザーローカル AIテキスト マイニングによる 分析

[illegible]

成果と課題

キーワード

学びを手繰り寄せる

学びの文化を変える



御清聴ありがとうございました